

**YKプランニング、日本IBMが検討を開始する
「会計データ・オン・クラウドプラットフォーム」
の協業ソリューションパートナーとして参画**

株式会社YKプランニング（本社：山口県防府市、代表取締役社長：岡本辰徳、以下 YKプランニング）は、日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、以下 日本IBM）による、中小企業・小規模事業者の財務や会計データを金融機関にデジタル・データとして提供できるようにするデータ・プラットフォーム「会計データ・オン・クラウドプラットフォーム」の検討開始における協業ソリューションパートナーとして参画します。

■協業ソリューションパートナーとしての参画の背景■

現在、中小企業・小規模事業者が金融機関に決算書を提出する際には、中小企業・小規模事業者やその顧問税理士・顧問会計事務所が、会計ソフトを利用して作成した決算書を紙に印刷して提出しています。一方金融機関では、システムに登録するために紙の決算書をスキャンし、その後事務センターにて登録するなど多大なる作業が発生します。また、紙の決算書を提出するための移動時間も必要となり、中小企業・小規模事業者に対する、融資審査の迅速化や高度化、さらには働き方改革が求められています。

日本IBMが2020年からのサービス開始を目標とする「会計データ・オン・クラウドプラットフォーム」は、クラウドおよびAPI（アプリケーション・プログラミング・インターフェイス）を活用し、中小企業・小規模事業者やその顧問税理士・顧問会計事務所が会計ソフトに入力した財務や会計データを金融機関にデジタル・データとして提供するためのプラットフォームです。日本IBMは業務の流れやシステム要件、APIおよびクラウド技術の有効性について、YKプランニングが開発した経営支援型財務システム「bixid（ビサイド）」に搭載された「会計データ標準化技術（特許第5261643号）」を含め、金融機関、会計ソフトメーカー、企業財務システムベンダーなど52社と検討を進めます。

YKプランニングは、経営支援型財務システム「bixid（ビサイド）」とともに、日本IBMが検討を開始した「会計データ・オン・クラウドプラットフォーム」に参画することで、中小企業・小規模事業者に対する融資審査の迅速化や高度化、中小企業・小規模事業者の顧問税理士・顧問会計事務所の業務合理化に貢献することを目指します。

■協業ソリューションパートナーとしてのYKプランニングの役割■

日本IBMが検討を開始する「会計データ・オン・クラウドプラットフォーム」において、中小企業・小規模事業者やその顧問税理士・顧問会計事務所から提出される財務や会計データを金融機関にスムーズに連携するための「会計データ標準化技術（特許第5261643号）」及び税理士・会計事務所業界並びに財務会計データに関する知見を提供するパートナーです。

【本リリース・製品サービスに関するお問い合わせ先】

I T本部 bixid 事業部 稲嶺 TEL : 0835-27-2727 E-Mail : info@yk-planning.com

<ご参考資料>

株式会社YKプランニングについて

山口県山口市を拠点に置く行本会計事務所（1982年開業）のシステム部門から独立した会社です。全国の会計事務所に対し、税務監査の標準化システムや財務分析、経営計画策定システム及びモニタリング業務をサポートするためのソフトウェア「財務維新」及び中小企業向けの経営支援型財務システム「bixid（ビサイド）」を開発・販売しています。「過去会計からの脱却と未来会計へのシフト」をモットーに、全国の税理士・公認会計士とともに地方創生の一翼を担うため、中小企業の財務の見える化健全化に取り組んでいます。

www.yk-planning.com

※YKプランニング、bixid及び財務維新は、株式会社YKプランニングの商標または登録商標です。また、本リリースに記載されているその他の会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。